

美作市へのアクセス

鳥取方面から

鳥取道大原ICまで約1時間。

岡山方面から

山陽道和気ICを下車後、国道374号経由で美作方面へ約45分。

又は山陽道山陽ICを下車後、県道27号・国道484号経由で美作方面へ約45分。



大阪方面から

中国道美作ICを下車、又は作東ICを下車。
又は中国道佐用JCTから鳥取道大原ICを下車。

2024年3月現在

新規就農希望者向けパンフレット



みまさか農

美作ブランドの未来の担い手をサポート

各種お問い合わせ先

移住定住に関する連絡先

担当課名 企画情報課
住所 〒707-0025 岡山県美作市栄町38-2
HP <http://www.city.mimasaka.lg.jp/pr.html>
TEL 0868-72-6631
FAX 0868-72-6367



新規就農に関する連絡先

担当課名 農業政策課
住所 〒707-0025 岡山県美作市栄町38-2
HP <http://www.city.mimasaka.lg.jp/>
TEL 0868-72-6694
FAX 0868-72-8094



農地情報(美作台地)に関する連絡先

担当課名 勝英土地改良区
住所 〒709-4331 岡山県勝田郡勝央町植月北3028-2
HP <http://midorinet-shoei.com/>
TEL 0868-38-2054
FAX 0868-36-2354



美作市農林産物販路開拓会議

Mimasaka City

美作市(みまさかし)

人口:27,956人
※平成27年国勢調査

美作市は岡山県の北東部に位置し、北は鳥取県、東は兵庫県と接しており、地域全体に豊かな山々の緑と、清らかな川の流れ、周辺に広がる田園などが調和し落ち着いた景観を形成しています。

市内には1200年の歴史を持つ湯郷(ゆのごう)温泉があり、京阪神の奥座敷として人気を集めています。また、剣聖宮本武蔵の生誕地をはじめ、F1が開催された岡山国際サーキット、日本女子サッカーリーグに加盟する「岡山湯郷 Belle」などの豊富な観光資源に恵まれ、多くの観光客が訪れています。

美作の自然条件

年間平均気温: 14.0℃
年間平均降水量: 1,488mm
積雪の状況: 12月~2月に数回
(主に市内北部地域)

(観測地点: 美作市今岡)

みまさかの農業

水稲を中心とした農業を展開し、転作作物としては、日本有数の生産量を誇る黒大豆を中心とした産地です。また、市中央部から南部にかけては果樹栽培(ぶどう、もも)も盛んです。近年人気のあるもち麦や、県内有数の産地である茶、花きやきのこ、アスパラガス等の野菜栽培等も盛んです。

就農までの流れ

相談・情報収集

- 農業を始めたいが、どうしたらよいのか
- 何の作物を栽培したいのか
- 経営規模、設備投資に必要な費用は
- 農地の確保
- 家族の理解
- 就農するにあたり活用できる制度の確認
- 住まいは?
- 農業体験研修について

支援について

1 農業体験研修・実務研修の研修主体 (令和3年4月時点)

	研修品目	産地の場所	研修主体
1	ぶどう	美作市豊国原	J A 晴れの国岡山
2	水稲+大豆	美作市赤田	赤田営農センター
3	いちご、ぶどう	美作市奥	(有)美作農園
4	花壇苗	美作市赤田	(株)永谷園芸
5	花壇苗	美作市下庄町	(株)洲崎園芸

2 就農支援

農地の確保	農業委員会や土地改良区、農地中間管理機構と連携し、情報提供を行います。
就業奨励金	市内において新たに農業に従事し、将来にわたり専業として農業経営を続けていこうとする方(申請年度当初39歳以下)に対して、奨励金(5万円)を支給します。
新規就農者育成総合対策	≪就農準備資金≫年間150万円(研修期間中最長2年間) ≪経営開始資金≫年間150万円(経営開始後最長3年間) ≪経営発展支援事業≫補助対象事業費上限1000万円 補助率3/4以内 (経営開始時の機械・施設等の導入支援) ※いずれも交付要件があります。
各種制度資金	・青年等就農資金 ・農業近代化資金 農業用機械や施設の整備に低利な制度融資が利用できます。青年等就農資金は無利子で融資を受けることができます。 ※融資には金融機関の審査があります。

3 その他支援

住居の確保	市や地元と連携した、空き家情報の提供や、市営住宅の紹介等を行います。
乳幼児等医療費給付事業	高校卒業(満18歳になって最初の3月31日)までのお子さまに、医療費の自己負担額を助成。原則として無料で医療が受けられます。
移住定住促進補助事業	市内に住宅を新築、中古物件を購入や改修した場合において、要件を満たした場合、補助金を交付します。(交付額は内容により異なります)

就農することを決心

- 営農に必要な準備の計画を立てる
 - ・ 技術の習得
 - ・ 農地の確保
 - ・ 資金の確保
 - ・ 機械、設備の確保
 - ・ 住居の確保

青年等就農計画の作成

- 新規就農者育成総合対策や青年等就農資金を活用する際に必要
 - 5年間の営農計画を美作市へ提出し、認定を受ける
- ※ 青年等就農計画の作成は任意です。各種補助事業や融資の利用計画がある方は作成を推奨しています。

農業経営の開始



岩城 未来さん(就農当時43歳)

作物 桃(経営面積:81a)
出身地 東京都
就農年度 平成27年度



1 美作市に移住し、就農した理由は?

友人が先に美作市に移住すると聞き、実際に美作市に来て現地を見て決めました。各関係機関の支援もあり、移住・就農しやすい環境だなと感じました。桃を栽培すると決めた理由は、最初に桃かぶどうのどちらを栽培するか悩みましたが「岡山県といえば桃」と自分の中で強い印象があったので桃にしました。

2 就農してやりがいを感じたこと、苦勞したことは?

元々外で体を動かすことが好きだったので、作業すること自体が日々楽しいです。都市部から移住してきて、時間がゆったりしている田舎の中で生活できていることは自分自身にとってとても良い経験ができていると感じています。

農薬を極力使わない栽培を行っていましたが、栽培が思い通りにいかず苦勞しました。また、収穫し始めたころは販路があまりなく、販売面で苦勞しました。現在は様々な人の協力もあり、販路は確保できつつあります。

3 今後移住や就農を考えている方へ。

地元の方との協調はすごく大切だと思います。生活習慣の違いなどは最初戸惑いがあるかもしれませんが、その土地にあった生活を受け入れていく心が大切だと感じています。生活にしる農業にしる、戸惑いができた時は、1人で考え込むと視野が狭くなるため、地域の人や農業仲間などに関わりを持って広い視野で生活をしていくことが重要だと思います。



新田 伸之さん(就農当時33歳)

作物 アスパラガス(経営面積:37a)
出身地 美作市
就農年度 平成28年度



1 地元で就農した理由は?

元々自然と外仕事が好きでした。農業以外の仕事をしていましたが、親が農業をしており、小さな頃から身近な存在であった農業に興味があり就農しました。アスパラガスを選んだ理由は、勝英地域が県内有数のアスパラガス産地であり、支援体制もよく栽培・販売を行っていくうえで有利だと感じ、アスパラガスを選びました。

2 就農してやりがいを感じたこと、苦勞したことは?

一番やりがいを感じるのやはり消費者の方から「おいしい」と言ってもらえること。栽培していくなかで大変なことも多くありますが、最終的に「おいしい」という声が聞けたときがやはり「やっていて良かったな」と感じます。苦勞したことは、技術面の習得です。親とは作物が全く別の作物でしたので、最初は分からないことだらけでした。また技術を勉強しても天候に左右されることも多く、栽培が思い通りにいかないことがありました。



3 今後移住や就農を考えている方へ。

計画をたてる前に、先入観を抜きで自分自身興味がない作物の勉強をするのも良いと思います。他の作物を勉強することで、新たな興味や知識が生まれ、今後の営農に役立つと思います。都市部に比べ地元との付き合いが深い分、営農・生活をしていくうえで地元住民や近隣農家とのコミュニケーションは大切です。慣れない土地での生活や農業をしていくと困ることがありますが、良好な関係があれば助けてくれる方もいると思います。

女性農業者



福嶋 直美さん(就農当時36歳)

作物 **ぶどう(経営面積:55a)**
 出身地 **勝央町**
 就農年度 **平成26年度**



1 美作市に移住し、就農した理由は?

実家が桃を栽培しており、小さなころから農業が身近な存在でした。そんな中、夫の友人がぶどうを栽培しており、栽培している姿を見てぶどう栽培に興味を湧き栽培を始めました。美作市で就農した理由としては、結婚して美作市に居住していたためです。

2 就農してやりがいを感じたこと、苦労したことは?

一番はやはり良いぶどうができ、お客さんにおいしいと言ってもらえることです。また、自分で納得できるぶどうが出来たときはすごく嬉しいです。時期になると毎日ほ場や作物の管理をしますが、気候の変動など様々な要件で思うように管理できないことは苦労します。また育児と農業の両立も大変です。農繁期は作業に追われ毎日ヘトヘトになっています。

3 今後移住や就農を考えている方へ。

厳しい言い方をすると、本当に農業で独立していきたいと思っている方は就農をお勧めしますが、現在の環境に不満があって漠然と農業をしたいと考えている方にはあまりお勧めできません。作業はしんどいことも多いです、目的や目標がない場合は長続きしないと思います。しかし、喜びややりがいも多いのが農業です。コミュニケーションを大切に、頑張ってください!



なぜ農業を始めたいのか? 就農前にもう1度考えてみましょう



農業は生産物を販売するまで収入を得ることができず、その間でも生活費や資材費は必要になります。また農作物は天候や市場価格にも影響され、計画通りの収入を得ることができない可能性があります。

自分のペースで働きたい

農業は時間に制約がなく自由なイメージを持たれている方が多いです。実際は天候や作物の特性で作業が一定期間に集中することもありますし、毎日定期的に行う作業もあり、とても忙しいです。

個人で働くことができるから

地域や各種部会や団体など多くの人との関わりが必要になります。農村集落でもさまざまな行事への参加などがあり、周囲の人たちとの助け合いも大事です。

農業経営の方針を定める

農業を始めるにあたって何の作物をどれだけの面積で栽培し、売上げと経費を計算し利益がどのくらいになるのか。自分自身でイメージをしっかりと描き、分からない部分については各相談窓口にご相談し、実態に沿った具体的な経営を計画していきましょう。

悩みは事前に解決しておきましょう

実際に営農を開始した後に別の場所に引っ越して農業をやり直したいと思っても、作物によっては非常に労力がかかる場合があります。住まいや気候、生活についてなど農業以外のことについても事前に調べておきましょう。

就農相談窓口

美作市農業政策課(全般)

☎ 0868-72-6694

美作市農業委員会(農地に関すること)

☎ 0868-72-6694

農地中間管理機構(農地に関すること)

☎ 0868-23-1325

勝英農業普及指導センター(農業技術に関すること) ☎ 0868-73-4067

ご紹介

● 美作市新農業経営者クラブ (通称:後継者クラブ)

55歳以下の市内の農業者で構成される組織です。経営品目は水稲、野菜、果樹、畜産など多様な経営体で構成されており、活動内容としては県内外への視察研修やイベント(マルシェ)の開催などを通して農業者同士の情報交換の場として活動しています。新規就農の方も加入されており、農業者同士活発な交流が行われています。

● 彩菜茶屋 (美作市・大阪府箕面市)

彩菜茶屋は美作市と大阪府箕面市に店舗を構える農産物直売所です。連日多くの方が来店されており、特に箕面店は開店前から行列ができるほど賑わっています。新規就農者の方も販路の1つとして活用されています。